

報道発表資料

相談解決のためのテストからNo. 161

令和4年2月17日
独立行政法人国民生活センター

消費生活センター等の依頼に基づいて実施した商品テスト結果をご紹介します。

背面から発煙した電気ストーブ

1. 依頼内容

「電気ストーブを使用していたところ、背面から発煙した。発煙した原因を調べてほしい。」という依頼を受けました。

2. 調査

当該品は自動首振り機能を有した電気ストーブでした。当該品を調査したところ、背面の首振り部分のカバー内で、電線が焼損し、断線していました。この焼損部分は、電源コードと本体の電源線を接続する、2つの絶縁被覆付閉端接続子のうちの1つでした(写真1参照)。

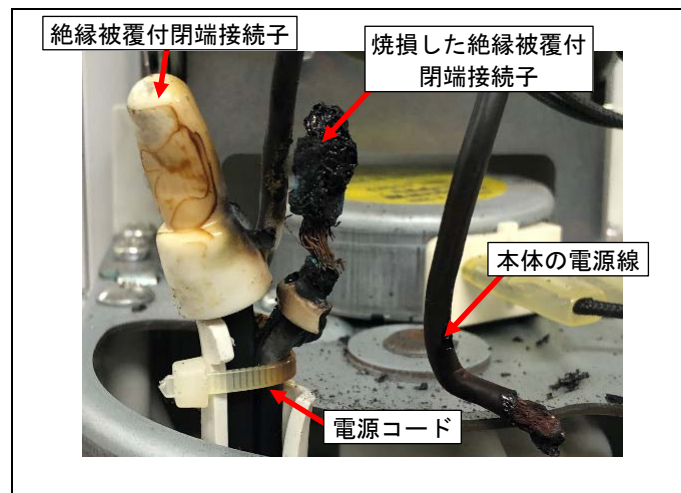


写真1. 電源コードの焼損部分

次に、X線検査装置を用いて観察したところ、焼損していた端子は心線の挿入不足がみられ、もう一方の端子についても同様に心線の挿入不足がみられました(写真2参照)。このため本体の電源線が適切に圧着されておらず、接触不良となって、通電時に異常発熱が起これ、周辺の絶縁物の焼損及び背面から発煙したものと考えられました。


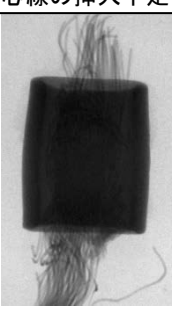
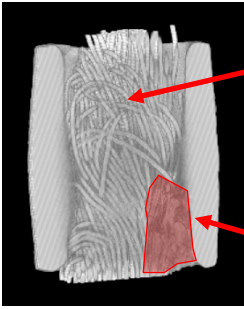

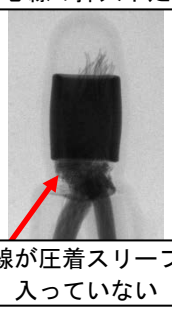
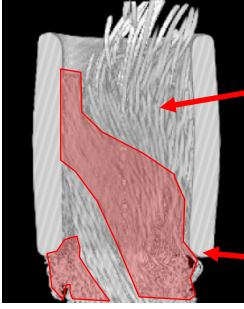

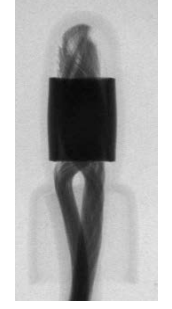
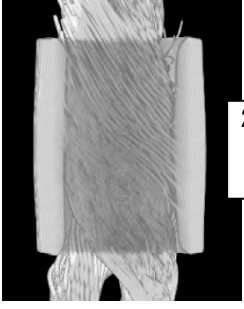
	実像	X線透過画像	X線CT画像
当該品の端子①		心線の挿入不足 	 電源コードの心線が圧着スリーブ内で絡まっていた 本体の電源線の心線
当該品の端子②		心線の挿入不足 心線が圧着スリーブに入っていない 	 電源コードの心線 本体の電源線の心線
同型品			 2本の心線が擦って絶縁被覆の奥まで挿入されている

写真2. X線観察

3. 解決内容等

依頼センターがテスト結果を事業者に説明したところ、事業者でも調査が行われ、「調査の結果、国民生活センターのテスト結果と同様の見解である。今後、管理を強化する。」との回答があり、当該品は同等品に無償交換されました。

本件問い合わせ先

商品テスト部：042-758-3165